

河川の氾濫に備え、顧客の信頼に応える — 集塵装置株式会社 —

企業概要・沿革

当社は、1959年（昭和34年）創業時より、作業環境改善設備から公害防止設備、廃棄物・リサイクル設備までを取り扱うプラントメーカーです。
お客様のあらゆるニーズにお応えできる的確な提案力と長年にわたる技術蓄積に基づいた設計力と施工管理力はコンサルティングエンジニアリングとして、お客様に高い評価を得ています。
また、その技術力を生かした計画、設計、施工、設備メンテナンスまでの一貫体制も当社の特徴です。従業員27名の規模ながら、国内大手や海外への輸出業務、特定業界に依存しないなど多くのノウハウを有する企業であります。



本社及び工場

設計、製作、設置、試運転までの一貫生産体制！

当社は、顧客要求仕様に基づき、プラント設備設計から部品製作、板金加工、配管工事、組立作業に至るハード製作のみならず、設備メンテナンスまで自社で対応します。

工場内における粉塵や悪臭に対応する集塵システム、工程内での端材を集める空気輸送システムが柱となっています。

また、他社の集塵機もメンテナンスできる体制を整え、顧客要求に応えるよう努めております。



工場での製作の様子



集塵装置の一例

BCP策定に取り組んだ理由

当社は、プラントエンジニアリング業態の中で、従来の全品社内製作から外注業者と社内組立への連携を行っている最中です。このため災害時に顧客への納入がスムーズにいか懸念をしています。

当社は荒川と新河岸川に挟まれたエリアのため、昨今の洪水による浸水被害が一番の脅威と感じています。板橋区のハザードマップでは、氾濫によって洪水が最大高さ2mにも達する予想のため、業務を止まらせないことを念頭に計画を立てる必要を感じました。

2018年9月、板橋区がBCP簡易モデルの企業への導入を勧めていることを知り、しかも訪問支援を実施することので、この機会を利用してBCP策定を決意しました。



集塵装置株式会社
代表取締役 丸山宏樹

策定にあたり特に注力した点

①当社従業員は顧客工場での作業や訪問等外出する機会が多く、安否確認、連絡方法など個人情報保護に細心の注意を払いつつ連絡体制については、重点的に検討しその仕組みづくりを行いました。

②BCP発動時、復旧判断に必要な行動の指針となる文書であるのか、またその文書を基に行動を実際にした時にイメージできるような内容となっているかを目指しました。

③年に1度決まった時期に見直しすることを社内ルールとして決めるとともに、管理職には経営者不在時でも対応できるよう、幹部ミーティングにて周知を図りました。

BCP策定の感想・効果

BCPを策定し、一定の安心感が醸成されましたが、実際の行動に移せるよう年一回は環境システム同様に社員全員への理解を進めなければならないと感じています。

経営トップとして、災害時の従業員への指示が迅速にできることに大きな期待をしています。

今回のBCP作成後に、取引先大手からBCPの対策を取っているか否かのアンケートが届き、今後も顧客からの要求に対する行動をとることで、一段の信頼を得ていかなばとの思いです。



事業者情報

事業者名	集塵装置株式会社
本社所在地	板橋区新河岸2-6-8
設立	昭和34年10月
資本金	7,000万円
従業員数	27名
代表者	丸山宏樹
Tel	03-3938-3711
E-mail	info@ducoll.co.jp